

工学部第3年次編入学試験 募集単位（学科等）のアドミッション・ポリシー

工学部第四類（建設・環境系）

1 求める学生像

本類が編成している社会基盤環境工学プログラム及び建築プログラムのディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ、編入学前に以下のような多様な能力を身につけてきた学生を求めています。

- (1) 高等専門学校等での基礎的、基本的な学力を幅広くきちんと身につけ、特に、理科や数学に高い学力、能力を有する人
- (2) 社会基盤環境工学や建築の分野に興味を持ち、これを学ぶことに意欲を有する人
- (3) 社会基盤環境工学や建築の分野を通して、社会に貢献することを目標とする人

なお、第3年次の入学前に学習しておくことが期待される内容は、以下のとおりです。

各高等専門学校等が定める教育課程表に従い、すべての教科・科目について、大学編入学後の勉学に支障をきたさないように履修していることに加え、特に工学部での授業内容を理解するために不可欠な教科である数学、理科（物理・化学）、英語に関して十分理解していることが望まれます。

また、第3年次の入学後に、高い倫理観と強い使命感とを有し、安全、快適で環境に優しい国土、生活空間の計画、創造、維持、再生を通して、広く社会に貢献する人材となり得る学生を求めています。

2 入学者選抜の基本方針

【学部第3年次編入学試験】

学部第3年次に編入するための専門的知識及び語学力を修得していることを確認し、本類のカリキュラム・ポリシーに適応可能な能力を見るために、面接（段階評価）、成績証明書及び TOEIC(R)/TOEFL(R) スコア証明書を評価し、総合成績を四段階（A, B, C, D）により評価します。なお、面接では、本学における専門教育に関わる基礎的な知識（数学、物理を含む）に関する試問を行い、学習能力や適性などについて評価します。